

弘前大学学報



53年連続出陣 弘前大学ねぶた

第 149 号
平成28年8月号

目 次

学内ニュース

○「アドミッションセンター講演会」を開催	1
○コンケン大学(タイ王国)人文社会学部長等来学	2
○「教育に関する表彰式」を実施	3
○八戸高等学校2年生による「テーマ研究発表会」が行われました	4
○平成28年度「被ばく医療研修」を開催	5
○第18回COI特別講演会開催	6
○学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム平成28年度「共通授業」開講	7
○平成28年度JASSO日本留学フェアinタイに参加	8
○青森県最大級3万2千点の野生植物標本コレクションが寄贈	9

諸 会 議	10
-------	----

人 事

○人事異動	11
-------	----

主要日誌	13
------	----

学内規則	14
------	----

「アドミッションセンター講演会」を開催

平成 28 年 8 月 4 日（木），総合教育棟 206 講義室を会場に「アドミッションセンター講演会」が，教育推進機構アドミッションセンターの主催により開催されました。平成 27 年 10 月に同センターが設置されて初めての講演会です。

佐藤学長の挨拶に続き，センター専任担当教員 小暮克哉 助教から，「入試広報活動と入試の動向について」をテーマに，平成 28 年度入試の結果，アドミッションセンターの活動，学生獲得に向けた広報戦略，他大学の A O 入試や入学前教育の例などについて紹介がありました。

会場には，伊藤教育担当理事をはじめ各学部長，学部の入試担当教員など 40 人を超す参加者があり，新たな課題の提示や情報共有の要望を含め活発な質疑応答が行われ，実りある講演会となりました。



小暮助教による講演の様子



講演会場の様子

コンケン大学（タイ王国）人文社会学部長等来学

本学の国際交流協定校であり、海外事務所を設置しているコンケン大学の人文社会学部より、クンティダー学部長、パラディー副学部長、ラッチャニー日本語講師、サクナン国際担当職員が平成28年8月4日～6日の日程で本学を訪れました。

2度目となる今回の訪問では、午前中に今井人文社会科学部長を表敬訪問し、その後、イングリッシュラウンジにて「コンケン大学留学フェア」を行いました。留学フェアには20名を超える学生・教職員が集まり、昨年コンケン大学から弘前大学に留学した学生たちが作成したコンケン大学紹介ビデオを熱心に鑑賞したのち、学部長や国際担当職員によるプレゼンテーションが行われ、有意義な意見交換の場となりました。

午後には、学長及び国際連携本部長を表敬訪問した後、国際連携本部との間で弘前大学コンケン事務所の利用についての意見交換が行われ、あわせて新たに教員交流プログラムを実施する案などが話し合われました。

国際交流会館の視察や交歓会の後には、ねふた衣装に身を包み、学長や理事らとともに弘前大学のねふたに参加し、弘前の街を楽しく練り歩き、翌日には、弘前市周辺を視察した後、無事帰国の途につきました。

今回の訪問は短い時間ではありましたが、多くの関係者と面会することができ、今後の学生交流や研究者交流の発展につながる意義深いものとなりました。



左からサクナン国際担当職員、吉澤理事、佐藤学長、クンティダー学部長、パラディー副学部長、ラッチャニー日本語講師



ねふた祭りにも衣装を纏い参加

「教育に関する表彰式」を実施

平成28年8月5日（金）、「教育に関して優れた業績を上げた教員」の表彰式を、総合教育棟2階大会議室において、引き続き「優秀な成績を修めた学生」の表彰式を、同1階共用会議室において行いました。

表彰式には、各学部等から推薦された教員5名中4名、学生26名中18名が出席し、伊藤教育担当理事・副学長をはじめ各学部長及び研究科長が見守る中、佐藤学長から一人ひとりに表彰状と副賞が贈呈されました。

また、学長から祝辞とともに今後の活躍を期待する旨の励ましの言葉があり、これを受けて、教員を代表して理工学研究科小菅正裕教授から、学生を代表して教育学部2年 森優希さんから謝辞とこれからの飛躍を誓う決意が述べられました。



八戸高等学校 2 年生による「テーマ研究発表会」が行われました

平成 28 年 8 月 19 日（金）、青森県立八戸高等学校 2 年生 183 名が本学を訪問し、総合教育棟においてテーマ研究発表会が行われました。全体挨拶の後、47 の班を研究分野 8 グループに分けて行われた発表会では、班ごとに企画したテーマに沿って行った研究について 5 分間の発表を行い、それに対し専門分野の本学教員が、仮説・データの取り方や引用方法などの助言や意見を述べていました。発表会は、本学アドミッションセンターと八戸高等学校との連携で行われ、全学部から 17 人の本学教員が助言を行いました。

終了後、八戸高校の生徒は、「丁寧なアドバイスでもっと話を聞きたいと思った。」「研究の楽しさ、難しさが実感できてよかった。」と感想を述べていました。

最後に、加藤博雄理工学研究科長から「研究は楽しいということが実感できたと思う。自己満足で終わらずにこれからも楽しいを追及して研究を続けてほしい」と挨拶があり、充実した発表会となりました。



加藤博雄理工学研究科長



発表会場の様子

平成 28 年度「被ばく医療研修」を開催

本学大学院保健学研究科では、全国の医療施設に勤務する看護職者及び診療放射線技師を対象とした、「被ばく医療研修」を開催しました。

同研究科では、多くの原子力関連事業所が集中している青森県における被ばく事故に対する安全、安心の確保、原子力関連企業従事者の医療リスク管理システムの構築及び被ばく医療に対応できるコ・メディカルスタッフの養成を目指し、平成 19 年度から緊急被ばく医療人材育成の取り組みを開始し、世界に貢献しうる人材育成のための教育・研究拠点を構築することを目指し、「被ばく医療における安心・安全のための国際的な教育・研究拠点形成事業」(平成 28 年度～平成 33 年度)を実施しています。その取り組みの一環として、従前の「緊急被ばく医療人材育成プロジェクト 現職者研修」の名称を「被ばく医療研修」に改め開催することとなりました。

被ばく医療研修は、緊急被ばく医療に必要な知識を習得、連携・協働しながら、適切な対応かつ安全管理ができる医療職者を育成することを目的とし、平成 22 年度から開催しているもので、7 回目の開催となる今年度は、看護職コースと診療放射線技師コースを 8 月 20 日、21 日の 2 日間の日程で開催し、青森県内と北海道、広島、福岡などから合わせて 34 名が受講し、本研修開始以来、最多の参加者となりました。研修プログラムの一部には事前に何度も繰り返し学習できる「e-ラーニング」を導入しています。

研修では、緊急被ばく医療の原則やサーベイメータの取り扱い等について、福島第一原子力発電所事故直後に派遣した弘前大学被ばく状況調査チームやその他の教職員が実際に現地で行った活動内容を盛り込んだ講義、演習が行われました。2 日目に実施した緊急被ばく医療シミュレーション演習では、『同研究科看護臨床実習室内に管理区域を設定し、原子力発電所の原子炉建屋内でトラブルの修復作業中に、2 名の作業員が暑さに耐えきれずにマスクを外し、体調が悪くなり転倒。上腕部及び下腿部を挫傷し汚染の可能性がある』という想定で、汚染を伴う傷病者の搬入から一般病室への退室までの一連の流れについて実践しました。受講生らは処置室の汚染管理を行うとともに、防護服を着用し、処置室の線量測定や創傷汚染の除染、創傷処置など一連の作業に取り組み、緊急被ばく医療への対応について学びました。また、福島県立医科大学災害医療総合学習センター 熊谷敦史 副センター長に「福島の現状」について講義していただくとともに、演習に対するアドバイスやコメントを得て理解を深めることができました。



サーベイメータの取扱演習の様子



緊急被ばくシミュレーション演習の様子

第 18 回 COI 特別講演会開催

平成 28 年 8 月 22 日（月）、弘前大学大学院医学研究科基礎大講堂において、東京大学医科学研究所研究倫理支援室 特任准教授 神里彩子氏を講師にお招きし、『医学・生命科学における研究倫理最前線』と題した特別講演会を開催しました。

本講演会は、弘前大学が文部科学省の「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)」に採択され、「略称：革新的『健やか力』創造拠点」として、企業および自治体とアンダーワンループの下「認知症・生活習慣病研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」を進めております。本講演会は、この活動を推進するにあたり、更なる知見を深めることを目的に実施しているもので、今回で 18 回目の開催となります。

今回の講演会では、来年度全面施行される予定の個人情報保護法等の改正に伴う倫理指針改正について、お話しいただきました。未確定な部分が多いものの、と前置きしたうえで、改正の影響が医学的研究に及ぶことに触れ、指針改正案のポイントとして 5 点＜個人情報の定義の変更や匿名化、要配慮個人情報の導入、個人情報の取得・提供に関する IC 手続き、匿名加工情報・非識別加工情報の取り扱いの追加＞を挙げ、新指針施行までに我々が対応すべき事項に関して、現段階でわかっていることを情報共有していただきました。

当日は、雨天にもかかわらず約 70 名が参加。一般の方や学生、教職員、企業等の関係者が聴講に訪れ、講演後には質疑応答や意見交換が活発に行われました。

今後、本拠点では個人情報保護法等改正に伴う倫理指針改正等への知見を深めて一層強化し、COI 事業を展開する予定です。



挨拶する中路研究リーダー



講演する東京大学 神里特任准教授



質問する聴講者



熱心に聞きいる聴講者

学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム
平成 28 年度「共通授業」開講

弘前市内の 6 大学が加盟している学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアムでは、弘前市と共催で、平成 28 年 8 月 22 日（月）～24 日（水）に、弘前駅前ショッピングモール&公共施設ヒロロ 4 階市民文化交流館ホール及び弘前市立観光館多目的ホールで「共通授業」を開講しました。

この「共通授業」は、「地域の課題を理解し、地域の発展を考える」をテーマに、地域の課題を具体的に理解し、その解決について自ら考えることができる人材を育成することを目的とし、平成 25 年度から実施している事業です。今年度から、本コンソーシアム加盟大学の弘前大学、弘前学院大学、東北女子大学の 3 大学で、授業の単位化が始まり、3 大学合わせて 41 名の大学生が受講しました。初日は「若者の政治参画－選挙ってなんのため？－」をテーマに、平成 28 年夏の参議院選挙から選挙権が 18 歳に引き下げられたことや世代別の投票率を取り上げ、若者の投票率の向上策を話し合い、選挙に行く意味や政治に参画することの大切さを考えました。2 日目の「防災まちづくり」では、会場を実際の避難所に見立て避難所運営訓練を実施し、スタッフ間の連携や被災者に寄り添う気持ちを持つことの重要性から、避難所運営の難しさを学びました。3 日目は「パッケージデザインで考えるまちの魅力発信」をテーマに、デザインを通して弘前市をアピールする方法を考えるため、エコバックのデザインを行い、弘前市の魅力が詰まったオリジナルティあふれる多くのデザインが創られました。

3 日間を通して大学間を越えた活発な話し合いがなされ、参加した学生から、「地域のことを考える機会になった」、「様々な意見を聞くことができてよかった」等の感想が出ました。



若者の政治参画について意見を発表する学生



デザインを形にしていく学生たち

平成 28 年度 JASSO 日本留学フェア in タイ に参加

平成 28 年 8 月 26 日（金）及び 8 月 28 日（日）に、それぞれタイのチェンマイ市とバンコク市で独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）主催の日本留学フェアが開催されました。

日本留学フェアとは、世界各国・地域で、日本への留学希望者及び進学指導者等を対象に、高等教育に関する情報及び個々の大学等の教育、研究上の特色等に関する情報を提供し、日本への留学促進を図る目的で行われているものです。

本学は去年に引き続き二度目の参加となり、国際教育センター鹿嶋准教授並びに中村広報・国際課長が参加しました。

チェンマイ会場（写真左）、バンコク会場（写真右）合わせて 100 名をこえるたくさんの学生や教育指導者が弘前大学のブースを訪れ、弘前大学の特色、入学試験の内容など様々な質問をし、両会場ともに盛況のうちに終了しました。

今後、タイからの留学生の増加が予想され、留学生の受け入れ体制のさらなる充実が期待されます。



法被を着てフェアに参加する鹿嶋准教授と本学ブースの様子

青森県最大級 3 万 2 千点の野生植物標本コレクションが寄贈

青森県在住の野生植物研究家である細井幸兵衛氏から弘前大学白神自然環境研究所へ、青森県では最大級となる野生植物標本（3 万 2 千点）が寄贈され、その目録贈呈式および本学への多大なる学術的貢献に謝意を表わす感謝状の贈呈式が 2016 年 8 月 31 日に本学コラボ弘大八甲田ホールにて執り行われ、細井氏、佐藤学長をはじめとする関係者が出席しました。

細井氏は青森県野生植物目録（1994）の著者であり、青森県レッドデータブック制作に関わる 21 あおもり自然環境調査会植物分科会委員や青森県生物多様性保全対策検討会の会長などを歴任された青森県における野生植物研究の第一人者です。また 2009 年には植物地理・分類学会にて学会賞を受賞されており、県内外の研究者からその功績が認められています。

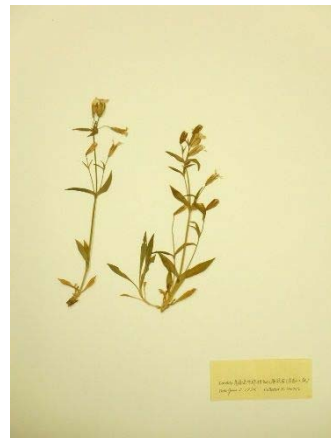
寄贈植物標本は主に青森県を中心に細井氏が採集した維管束植物で構成されており、内訳はシダ植物（33 科）、裸子植物（8 科）、被子植物（174 科）です。この中には既に地域絶滅している可能性の高い種や同定が難しい雑種等も数多く含まれています。

全国的にも地域の植物コレクションがこれほどまでに網羅的に揃っている事は非常に稀有であり、また細井氏は種同定が難しいものに関しては、大井次三郎氏、原寛氏、水島正美氏をはじめとする世界的にも著名な植物学者に同定依頼しており、種同定の信頼性も非常に高いものです。

寄贈を受けた白神自然環境研究所は既に白神山地に生育する生物標本コレクションの作成を進めており、今回の貴重な標本コレクションとあわせて青森県の生物情報の整備と発信に貢献すべく活動を行っています。



佐藤学長（右）に目録を贈呈する細井氏（中央）



寄贈された標本のひとつ(アオモリマンテマ)

■ 諸 会 議

8 月中に開催された会議はありませんでした。

新任教授紹介

【平成28年8月1日発令】



教授(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当)

ヨシヤマ ヨシノリ
横山 良仁
昇任

人事異動

[採用]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年08月01日		細川 翔太	助教(医学系(保健科学領域)／大学院保健学研究科専任担当)
H28年08月01日		谷地 孝文	助手(大学院医学研究科地域救急医療学講座) [H32.3.31まで]
H28年08月01日		川村 知紀	助手(医学系(臨床医学領域)／医学部附属病院専任担当) [H33.7.31まで]
H28年08月01日		一戸 千明	歯科技工士(病院・医技)
H28年08月01日		相馬 夕紀	看護師(病院・看護)
H28年08月01日		木村 文子	看護師(病院・看護)
H28年08月16日		棟方 光恵	看護師(病院・看護)

[任期更新]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年08月01日	教授(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当)	早狩 誠	教授(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) [H38.7.31まで]
H28年08月01日	栄養士(教育・附小)	宮川 咲	栄養士(教育・附小) [H28.8.31まで]

[昇任]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年08月01日	准教授(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当)	横山 良仁	教授(医学系(臨床医学領域)／大学院医学研究科専任担当) [H38.7.31まで]

[配置換え]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年08月01日	助教(大学院医学研究科地域救急医療学講座)	小林 完	助教(医学系(臨床医学領域) / 医学部附属病院専任担当) [H33.7.31まで]

[命]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年08月01日	教授(医学系(臨床医学領域) / 大学院医学研究科専任担当)	横山 良仁	医学部附属病院産科婦人科科长
H28年08月01日	教授(医学系(臨床医学領域) / 大学院医学研究科専任担当)	横山 良仁	医学部附属病院周産母子センター部長

[休業]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年08月28日	看護師(病院・看護)	鳴海 佑美	育児休業開始 [H29.9.30まで]
H28年08月30日	助産師(病院・看護)	江利山 咲子	育児休業開始 [H30.3.31まで]
H28年08月31日	看護師(病院・看護)	本間 萌美	育児休業開始 [H29.3.31まで]

[休職]

発令年月日	現職(所属)	氏名	異動内容
H28年08月01日	主任(医)	和田 丈稔	期間延長 [H28.9.30まで]
H28年08月01日	栄養教諭(教育・附小)	菊地 純子	期間延長 [H28.8.31まで]
H28年08月01日	看護師(病院・看護)	早川 美咲	期間延長 [H28.9.30まで]
H28年08月11日	教授(自然科学系(安全システム工学領域) / 大学院理工学研究科専任担当)	児玉 安正	期間延長 [H29.1.26まで]
H28年08月14日	事務職員(医)	石川 直哉	期間延長 [H28.9.13まで]

■ 主要日誌

- 8月 1日 53年連続 ねぶた祭り出陣（1日，3日，5日の三夜）
- 4日 「アドミッションセンター講演会」を開催
- 4日 コンケン大学（タイ王国）人文社会学部長等来学（～6日）
- 5日 「教育に関する表彰式」を実施
- 19日 八戸高等学校2年生による「テーマ研究発表会」が行われました
- 20日 平成28年度「被ばく医療研修」を開催（～21日）
- 22日 第18回 COI 特別講演会開催
- 22日 学園都市ひろさき高等教育機関コンソーシアム平成28年度「共通授業」開講（～24日）
- 26日 平成28年度 JASSO 日本留学フェア in タイ に参加（～28日）
- 31日 青森県最大級3万2千点の野生植物標本コレクションが寄贈

■ 学内規則

8 月中に制定，一部改正等された規則はありませんでした。

弘前大学学報第149号

弘前大学総務部広報・国際課
036-8560 弘前市文京町1
電話 (0172) 36-2111